

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成26年8月7日(2014.8.7)

【公表番号】特表2008-502159(P2008-502159A)

【公表日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-003

【出願番号】特願2007-515655(P2007-515655)

【国際特許分類】

H 01 L 33/48 (2010.01)

【F I】

H 01 L 33/00 N

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年6月20日(2014.6.20)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0045

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0045】

レンズ70は、多数の方法で、成形体40に取り付けられることができる。例えば、レンズ70が、温度サイクル中に封止剤の上に着座し、浮遊するように、レンズ70が封止剤に接着される。あるいは、レンズ70は、その棚状の突起73で、成形体40と固定される。数百ミクロンの小さな隙間、すなわち膨張空間が、レンズ70の最下点とリードフレーム22の上面側24との間に存在する。この隙間によって、封止剤が温度サイクル中にこの隙間を通って呼吸(breathe)する(膨張および収縮する)ことができて、たとえあつたとしても、高い熱応力はダイパッケージ10の他の部分に影響をほとんど与えない。これによって、剥離、亀裂および熱応力に関するその他の原因による故障が低減される。